

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2008-125927(P2008-125927A)

【公開日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2006-316419(P2006-316419)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月11日(2009.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を有する遊技盤と、  
 所定の演出画像が表示される演出画像表示装置と、  
 前記遊技領域に設けられ、当該遊技領域を流下する遊技球を受け入れ可能な受入口と、  
 前記遊技領域に設けられ、遊技球の受け入れが不可能な閉鎖態様と遊技球の受け入れが可能な開放態様との間で変位可能な開閉装置と、  
 少なくとも一以上の特別領域および一以上の通常領域が周縁に沿って設けられると共に、一定の速度で回転することによって機械的な抽選処理を行う円形状の回転式役物と、  
 前記開閉装置に受け入れられた遊技球を、前記回転式役物の周縁に対向させることによって前記特別領域または前記通常領域に案内する案内装置と、  
 遊技の進行を制御する遊技制御手段と、  
 を備えた遊技機であって、  
 前記回転式役物は、  
 前記通常領域が、遊技球を受け入れ可能な通常選択口と、当該通常選択口に隣接し且つ当該通常選択口よりも先だって前記案内装置に対向する通常周壁と、から形成されると共に、  
 前記特別領域が、遊技球を受け入れ可能な特別選択口と、当該特別選択口に隣接し且つ当該特別選択口よりも先だって前記案内装置に対向する特別周壁と、  
から形成されており、  
 前記遊技制御手段は、  
 前記演出画像表示装置にて表示される表示時間がそれぞれ異なる複数の演出画像を少なくとも記憶する演出画像記憶手段、  
 前記受入口への遊技球の通過または受け入れを検出する受入口検出手段、  
 前記受入口検出手段により前記受入口への遊技球の通過または受け入れがあった旨が検出されたことに基づいて内部的な抽選処理を行う抽選手段、  
 前記抽選手段による内部的な抽選処理に当選したことに応じて前記複数の演出画像のなかからいずれかの演出画像に選択決定する演出画像選択決定手段、  
 前記演出画像選択決定手段により選択決定された演出画像が前記演出画像表示装置にて

表示されるように表示制御する演出画像表示制御手段、

前記開閉装置を、前記閉鎖態様と前記開放態様との間で変位させる開閉制御手段、

前記特別選択口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記回転式役物による機械的な抽選処理に当選した旨を検出する役物抽選判断手段、および

少なくとも前記役物抽選判断手段によって当選した旨が検出されたことに基づいて遊技者に有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段、

を有しており、

前記演出画像選択決定手段により選択決定された演出画像に応じた表示時間で前記演出画像表示装置に当該演出画像が表示されたのちに、前記開閉装置が前記閉鎖態様から前記開放態様に変位するとともに、当該開閉装置が当該開放態様に変位してから一定時間経過後に、前記案内装置が当該開閉装置から受け入れられた遊技球のうち1球のみを前記特別領域または前記通常領域に案内するものであって、

前記回転式役物は、

当該回転式役物の周縁に沿った前記特別選択口の開口長さが前記通常選択口の開口長さと同じかまたは大きいにも拘らず、当該回転式役物の周方向に沿った前記特別領域の領域長さが前記通常領域の領域長さよりも小さく形成されることで前記1球の遊技球が当該特別領域よりも当該通常領域に案内され易くされている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記1球の遊技球は、

前記演出画像表示装置にて前記複数の演出画像のうち一の演出画像が表示された場合にのみ、前記特別領域に案内され得る

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記特別選択口は、当該特別選択口の径方向深さが前記通常選択口の径方向深さよりも大きく形成されている

ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を解決するための本発明に係る遊技機は、遊技領域を有する遊技盤と、所定の演出画像が表示される演出画像表示装置と、前記遊技領域に設けられ、当該遊技領域を流下する遊技球を受け入れ可能な受入口と、前記遊技領域に設けられ、遊技球の受け入れが不可能な閉鎖態様と遊技球の受け入れが可能な開放態様との間で変位可能な開閉装置と、少なくとも一以上の特別領域および一以上の通常領域が周縁に沿って設けられると共に、一定の速度で回転することによって機械的な抽選処理を行う円形状の回転式役物と、前記開閉装置に受け入れられた遊技球を、前記回転式役物の周縁に対向させることによって前記特別領域または前記通常領域に案内する案内装置と、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、を備えた遊技機であって、前記回転式役物は、前記通常領域が、遊技球を受け入れ可能な通常選択口と、当該通常選択口に隣接し且つ当該通常選択口よりも先だつて前記案内装置に対向する通常周壁と、から形成されると共に、前記特別領域が、遊技球を受け入れ可能な特別選択口と、当該特別選択口に隣接し且つ当該特別選択口よりも先だつて前記案内装置に対向する特別周壁と、から形成されており、前記遊技制御手段は、前記演出画像表示装置にて表示される表示時間がそれぞれ異なる複数の演出画像を少なくとも記憶する演出画像記憶手段、前記受入口への遊技球の通過または受け入れを検出する受入口検出手段、前記受入口検出手段により前記受入口への遊技球の通過または受け入れがあった旨が検出されたことに基づいて内部的な抽選処理を行う抽選手段、前記抽選手段による内部

的な抽選処理に当選したことに応じて前記複数の演出画像のなかからいずれかの演出画像に選択決定する演出画像選択決定手段、前記演出画像選択決定手段により選択決定された演出画像が前記演出画像表示装置にて表示されるように表示制御する演出画像表示制御手段、前記開閉装置を、前記閉鎖態様と前記開放態様との間で変位させる開閉制御手段、前記特別選択口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記回転式役物による機械的な抽選処理に当選した旨を検出する役物抽選判断手段、および、少なくとも前記役物抽選判断手段によって当選した旨が検出されたことに基づいて遊技者に有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段、を有しており、前記演出画像選択決定手段により選択決定された演出画像に応じた表示時間で前記演出画像表示装置に当該演出画像が表示されたのちに、前記開閉装置が前記閉鎖態様から前記開放態様に変位するとともに、当該開閉装置が当該開放態様に変位してから一定時間経過後に、前記案内装置が当該開閉装置から受け入れられた遊技球のうち1球のみを前記特別領域または前記通常領域に案内するものであって、前記回転式役物は、当該回転式役物の周縁に沿った前記特別選択口の開口長さが前記通常選択口の開口長さと同じかまたは大きいにも拘らず、当該回転式役物の周方向に沿った前記特別領域の領域長さが前記通常領域の領域長さよりも小さく形成されることで前記1球の遊技球が当該特別領域よりも当該通常領域に案内され易くされていることを特徴とする。